

2017年度も継続して、定例研究会を開催しました（東京3回、関西4回、北海道2回）。特に今年度は、研究所が初めて実施したスタディツアー「ポーランド・コルチャック訪問の旅」の事前・事後学習会を兼ねた研究会を東京・関西・北海道で設けたこと、また従来テーマとして取り上げることが少なかった「医療現場における子どもの権利」に関する研究会を開催できたことが新たな成果でした。

東京、関西、北海道で開催された研究会の詳細は以下の通りです。

【東京】

①2017年9月2日（土）於：早稲田大学

テーマ：子どもの権利条約第4回・5回（統合）日本政府報告の検討

報告：「子どもの権利条約第4回・5回日本政府報告の内容と課題」

平野 裕二（子どもの権利条約NGOレポート連絡会議）

コーディネーター：荒牧 重人（子どもの権利条約総合研究所代表）

※子どもの権利条約NGOレポート連絡会議を兼ねる

②2017年12月9日（土）於：東洋大学

報告：「ヤヌシュ・コルチャックの思想と実践～子どもの権利条約の源流を探る」

塚本 智宏（東海大学札幌キャンパス）

コーディネーター：荒牧 重人（子どもの権利条約総合研究所代表）

※スタディツアー「ポーランド・コルチャック訪問の旅」事前学習会を兼ねる

③2018年2月17日（土）於：東洋大学

テーマ：医療現場における子どもの権利

報告：「医療現場における子どもの権利」

田中 恭子（国立成育医療研究センター、小児科専門医）

「国連子どもの権利委員会・一般的意見にみる医療と子どもの権利」

平野 裕二（子どもの人権連代表委員、CRC総合研究所運営委員）

コーディネーター：内田 塔子（東洋大学、子どもの権利条約総合研究所事務局長）

協力：東洋大学福祉社会開発研究センター子どもユニット

【関西】

①2017年6月24日(土) 於：弁天町 HRC ビル

テーマ：「家庭教育支援法」をめぐる国と自治体の動向

報告：林 大造 (追手門学院大学社会学部准教授)

コーディネーター：浜田 進士 (子どもの権利条約総合研究所副代表)

②2017年8月6日(日) 於：弁天町 HRC ビル

テーマ：「子どもの権利の視点から「子どもの相談・救済」を考える—子どもオンブズの個別救済と制度改善の実践を振り返るなかから—」

基調報告：「子どもオンブズパーソンはどこで問題解決をはかるのか—問題の土俵と解決の土俵—」

浜田 寿美男 (川西市子どもの人権オンブズパーソン前代表/奈良女子大学名誉教授)

指定討論：「いじめ防止法」とその前提にある発想を問い直す

住友 剛 (京都精華大学教授)

「子どもにやさしいまち」に不可欠な相談・救済の制度

荒牧 重人 (山梨学院大学法科大学院教授)

コーディネーター：浜田 進士 (子どもの権利条約総合研究所副代表)

吉永 省三 (子どもの権利条約総合研究所研究員)

③2017年10月6日(金) 於：弁天町 HRC ビル

報告：「コルチャック先生の子どもの観と生涯」

塚本 智宏 (東海大学札幌キャンパス)

※スタディツアー「ポーランド・コルチャック訪問の旅」事前学習会を兼ねる

④2018年2月18日(土) 於：弁天町 HRC ビル

テーマ：どう創るか？児童福祉法に基づく子どもの権利擁護の第三者機関

基調報告：「都道府県児童福祉審議会を活用した子どもの権利擁護の検討」

堀 正嗣 (「都道府県児童福祉審議会を活用した子どもの権利擁護」検討委員会委員長/熊本学園大学)

報告：「都道府県児童福祉審議会に関する調査研究の概況」

前橋信和 (児童福祉審議会調査研究小委員会委員長/関西学院大学)

「条例設置の子どもの権利擁護機関に関する調査研究の概況」

吉永省三 (子どもの権利擁護機関調査研究小委員会委員長/千里金蘭大学)

コーディネーター：浜田進士 (子どもの権利条約総合研究所副代表)

田中文子 (子ども情報研究センター理事)

【北海道】

①2017年8月24日（木）於：芽室町「めむろーど」

シンポジウム：「子どもの相談・救済機関」の役割と課題

ー子どもにやさしいまちづくりを目指してー

第1部 対談：子ども施策の展開と子どもにやさしいまちづくり

宮西 義憲・芽室町長

荒牧 重人・子どもの権利条約総合研究所代表（山梨学院大学教授）

第2部 シンポジウム：「子どもの相談・救済機関」の役割と課題

基調報告：子どもの相談・救済機関の今日的役割

吉永 省三（千里金蘭大学客員教授）

報告：子どもの相談・救済機関の現状と課題

世田谷区子どもの人権救済委員 半田 勝久（日本体育大学准教授）

士別市子どもの権利救済委員 野中 英樹（弁護士）

旭川市（民間）子どもの相談機関「きらきら星」 村岡 篤子（代表）

コメンテーター：喜多 明人・子どもの権利条約総合研究所顧問（早稲田大学教授）

コーディネーター：松倉 聡史（子どもの権利条約総合研究所北海道事務所長／
名寄市立大学教授）

②2017年3月17日（土）於：北海学園大学

テーマ：子どもの権利条約の効果的な実施に向けて

【第1部】子どもの権利条約をどう活かすか

ーヤヌシュ・コルチャックの思想と実践に学ぶー

講演 「コルチャック先生の子どもの権利宣言 ―『子どもをいかに愛するか（1918年）』から100年、ポーランドの旅から帰ってー」

塚本 智宏（子どもの権利条約総合研究所北海道事務所副所長／
東海大学札幌教養教育センター教授）

【第2部】子どもの権利条約の効果的実施の課題

講演 「子どもの権利条約の実施状況に関する検証―第4・5回日本政府報告の問題点と課題―」

荒牧 重人（子どもの権利条約総合研究所代表／山梨学院大学教授）

コメンテーター 佐々木 一（札幌こどけん代表）

馬場 政道（弁護士）

コーディネーター 松倉 聡史（子どもの権利条約総合研究所北海道事務所長／
名寄市立大学教授）

その他、前年度に引き続き、研究所の提携団体である「福岡 子どもにやさしいまち・子どもの権利研究会」との連携に努め、研究会（2017年7月15日／2017年10月21日）の告知協力を行いました。また、2016年度より設立準備に協力してきた「東海地区 『子ども条例ネットワーク』」の設立集会（2017年9月9日）に参加し、研究活動の連携をさらに進めました。